

# 2020年度（令和2年度） 名古屋大学基金 会計報告

2020年度の名古屋大学基金の寄附受入金額は25億8,711万5,857円となりました。皆様よりあたたかいご支援を賜りましたこと、厚く御礼を申し上げます。

## ■ 2020年度の寄附受入状況

◇寄附金合計額【現金寄附】：25億6,609万7,587円

◆寄附金合計額【物納、有価証券等を含む】：25億8,711万5,857円

### ①法人と個人の内訳【現金】

法人からの寄附、個人からの寄附についての内訳は以下の通りです。

分類	法人			個人							合計	
	企業	その他	小計	職員	退職職員	在学生	卒業生	在学生の保護者	卒業生の家族	一般		小計
寄附件数(件)	112	30	142	381	122	53	1,478	343	252	447	3,076	3,218
寄附金額(千円)	133,599	15,600	149,199	14,183	22,423	1,160	2,165,646	14,318	58,901	140,266	2,416,898	2,566,098

### ②基金本体と特定基金【現金】

基金本体と特定基金の寄附状況については以下の通りです。

分類	寄附件数(件)	寄附金額(千円)
基金本体	1,082	2,234,500
特定基金	2,136	331,598
合計	3,218	2,566,098

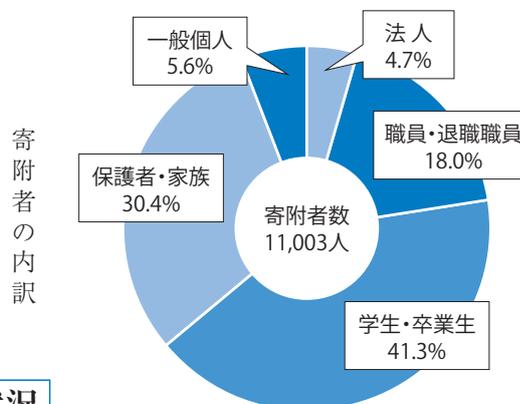
## ■ 2005年度～2020年度の寄附受入状況

◇寄附総額【現金寄附】：75億9,458万5,202円

◇寄附者数：11,003人（法人・個人含む）

◆寄附総額【物納、有価証券等を含む】：

197億8,271万1,281円



## ■ 2020年度 名古屋大学基金事業収支状況

### 《収入》

区分	金額
前期繰越	198,202
当期運用益	184,558
合計	382,760

(単位：千円)

### 《支出》

区分	金額	内訳
下駄の鼻緒奨学金	2,400	日本人学生2人×60万円(年間) 留学生2人×60万円(年間)
G30学部留学生奨学金	30,162	15人×奨学金50万円×4学年 入学金282,000円(初年度)
海外派遣日本人学生給付金 <sup>※1</sup>	2,293	短期研修19名(渡航費上限10万円) 交換留学2名(渡航費上限20万円)
アジアサテライトキャンパス奨学金 <sup>※1</sup>	0	短期スクーリング滞在費
ホシザキ奨学金	46,080	奨学金144万円×16人×2年分
牧誠記念研究助成	1,000	研究助成金50万円×2人
中嶋家研究基盤環境支援事業	4,947	全学共用機器修繕/改修 4件
若手研究者支援事業 <sup>※2</sup>	0	
新型コロナウイルス緊急対策事業	20,000	コロナ禍における全学の 学生支援事業に充当
次期繰越	275,878	
合計	382,760	

(単位：千円)

※1：コロナ禍の影響による支出減

※2：2021年度からの実施となったため

## ■ 2020年度 特定基金事業総括

特定基金事業の寄附受入件数、寄附受入額、執行額については以下の通りです。

事業名	寄附件数 (件)	受入額 (千円) ※下段は累計額	執行額 (千円) ※下段は累計額	執行実績及び今後の執行計画
工学部・工学研究科支援事業	114	6,622 (70,497)	6,040 (13,690)	【実績】工学奨学奨励金制度：72件 (博士後期課程入学者全員(留学生を含む) に70千円を給付) 若手研究者支援：1,000千円(2名分)
青色LED・未来材料研究 支援事業	60	18,367 (64,240)	2,165 (4,629)	【実績】知的財産管理費1,759千円、学生海外 派遣助成406千円 【計画】知的財産管理費2,000千円、学生海外 派遣助成費1,900千円、学生奨学支援2,800千円
アジア法律家育成支援事業	21	2,825 (18,396)	0 (4,609)	【計画】アジア法律家育成支援、日本人グロー バルリーダー育成支援、アジア法研究支援等
女性リーダー育成支援事業	22	562 (3,483)	0 (0)	【計画】女性研究者、女子学生、院生の育成 支援や、その推進のための調査研究及び男女 共同参画推進における活動の実施等
名高商・名大経済学部・ 経済学研究科100周年記念 支援事業	54	1,952 (65,856)	27,418 (29,539)	【実績】キタンホール(旧カンファレンスホ ール)のAVシステムとして23,650千円、エン トランス改修工事(照明、ガラスオブジェ、 芳名板、看板の取付等)として1,524千円、 その他2,244千円、計27,418千円を支出した。 9月26日には、大口寄附者を招待してキタン ホール完成テープカット式を実施した。記念 誌出版についても、名誉教授の先生方等から 原稿をいただいております、来年度には出版でき るように準備している
医学系未来人材育成支援事業	52	5,950 (136,330)	9,500 (9,500)	【実績】学修支援事業として困窮学生に奨学 金を支給。9,500千円(14名)
名古屋大学 「大学発ベンチャー応援事業」	19	10,787 (30,892)	3,583 (8,266)	【実績】ビジネスプランコンテスト5件2,800 千円、アイデアピッチコンテスト5件500千 円、全国地域ブランド総選挙2件70千円、 その他物品購入4件213千円
医学部附属病院支援事業	60	115,780 (205,651)	11,640 (11,640)	【実績】患者サービスの向上及び診療環境の 充実のため、次のとおり基金の支出を行った。 温冷配膳車デリカート(7,150千円)、上部消 化管汎用ビデオスコープ(3,520千円)、フレ クシークリーンエアシステム(970千円)
名古屋大学附属図書館支援事業	176	3,736 (18,295)	839 (4,989)	【実績】高木家文書デジタル撮影821千円、消 耗品費他18千円
ジェンダー平等支援事業	8	140 (50,852)	1,206 (18,927)	【実績】配分済み額の各部局執行額は1,206千円。 【計画】2020年度は、女性教員増員策の実施 途中であるため、部局配分実績は無かったが、 2021年4月の成果に従い、2021年度には順次 各部局への配分を実施する予定である。加え て、2021年度以降は新たな女性教員増員策改 定案を策定し、女性教員が増員した場合など に本基金を活用予定
農学部・生命農学研究科教育 研究支援事業	73	15,262 (126,751)	6,380 (14,020)	【実績】奨学金給付4,300千円(4名)、JDPサ ポート880千円(2名)、その他(研究者奨励 費執行分)1,200千円
次世代保健医療リーダー育成 支援事業	14	400 (1,695)	0 (0)	【計画】学生教育環境整備事業及び若手研究 者支援事業に使用する予定
トランスフォーマティブ 生命分子研究所支援事業	27	314 (1,058)	0 (0)	【計画】ITbMでは融合研究と人材育成を推 進するためのピッチコンテストを企画してお り、基金では優れたアイデアに対してアワ ードの贈呈を準備している
教育学部附属中・高等学校 75周年記念国際化推進支援 事業	37	1,202 (6,100)	0 (0)	【計画】国際交流活動における高校生の米国派 遣、モンゴル派遣、リトアニア派遣費用の一部 支援を予定している。また今年度採択された文 科省受託研究のWWL研究開発(2021～2023年 度)の国際交流活動でも活用する予定である
創薬科学研究科支援事業	24	504 (3,173)	0 (173)	【計画】学外との学術的、人的交流を図るための 講演会の運営及び渡航支援等に執行する予定

事業名	寄附件数 (件)	受入額 (千円) ※下段は累計額	執行額 (千円) ※下段は累計額	執行実績及び今後の執行計画
理学部学生支援事業	32	1,697 (6,134)	450 (450)	【実績】理学部長顕彰：6名 300千円 理学部奨励賞：30名 150千円
PhD登龍門支援事業	49	14,386 (57,022)	162 (11,491)	【実績】コロナ禍で海外研修などが実施できず、社会人メンター、ヤングメンターなどの研修経費 62千円、第21回国際情勢講座開催経費 100千円
教育学部・教育発達科学研究科創設70周年記念学生支援事業	12	1,130 (3,211)	0 (0)	【計画】教育研究環境の整備、若手研究者支援及び学生の学修支援のための支出を予定
博物館支援事業	8	155 (652)	0 (0)	【実績】NU MIRAIのプロジェクトとして「未来に活かす博物館」構想を立ち上げ、全学が関わるキャンパスミュージアムに関する特別展を行うなど、事業の継続・推進した
巨大災害から次世代を守る減災館支援事業	33	1,407 (6,778)	0 (967)	【計画】COVID-19感染拡大防止の間も所属教員による講演映像をYouTubeを介してweb掲載するオンディマンド・ギャラリートーク(バーチャルギャラリートーク)を22件開催するなど(合計再生4,394回)、新しい生活様式に対応すべく、「バーチャル減災館」の整備に向けた試行を継続していく
数理科学学生支援事業	30	2,992 (3,513)	0 (0)	【計画】優れた数理科学人材の育成、およびそれを実施するための教育・研究環境の整備を行う
創立75周年記念文学部研究基盤整備支援事業	10	141 (11,279)	0 (0)	【計画】図書室及び図書の収蔵スペースの整備・拡充、大学院生・若手研究者の顕彰
創基150周年医学部基盤整備支援事業	124	50,395 (152,760)	23,429 (23,429)	【実績】創基150周年に係る基盤整備事業の一貫として竣工する医学部史料館の移設改修工事を行った
総合科学による古代エジプト調査研究支援事業	5	310 (840)	0 (169)	【計画】エジプト調査準備費、3Dデータ制作費
名古屋大学漕艇部艇庫・合宿所等整備支援事業	102	4,074 (26,085)	0 (0)	【実績】関係者の皆様の多大なご尽力により、漕艇部艇庫改修工事(新艇庫建設)について、基本計画が作成され、艇庫新営その他設計業務についての入札が行われた。今後、当該改修に係る執行に充てていく
博士課程人材育成支援事業	7	675 (695)	0 (0)	【計画】博士課程人材育成のための奨学金として支出する予定
次世代環境人材育成支援事業	4	4,210 (4,210)	0 (0)	【計画】令和2年度に特定基金を設置し、広報資料配布時に基金への支援を募った。次世代環境人材育成奨学金の給付に関する要項を作り、2021年度に学生への支援に使用予定
企業によるエンカレッジメント奨学金事業	2	2,500 (2,500)	0 (0)	【計画】民間企業から奨学等を目的とした寄附に基づき、名古屋大学の学業優秀な学生や、経済的困窮学生の修学環境の確保を目的として、給付型奨学金制度を創設。2021年度から5名に対して給付額500千円の一括給付を開始する予定
経済的困窮学生の修学支援事業	85	9,147 (37,507)	3,300 (10,700)	【実績】理学部奨学金 600千円、法学研究科奨学金 2,700千円
新型コロナウイルス感染症対策緊急学生支援基金	872	53,976 (53,976)	53,976 (53,976)	【実績】自宅外学生への生活支援金給付(30千円/人)をはじめ、大学独自の授業料減免(日本人学生/私費留学生)、オンライン講義受講のためのICT環境支援(Wifiルータ貸出)、学術資料収集図書支援(郵送による図書の自宅配送貸出サービス)、学習場所(アクセスポイント)等の提供、大学の宿舎等自宅で待機する留学生への空港からの移動支援等
計	2,136	331,598 (1,170,431)	150,088 (221,164)	

# 支援を受けた学生の声 ～2020年度名古屋大学基金感謝の集いより～

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策緊急支援受給学生

皆様ご存知の通り、この一年間は新型コロナウイルス感染症に大きな影響を受けました。

緊急事態宣言下の社会において、私のような下宿生活を送っている大学生にとって、一番の問題は食事でした。

アルバイトのシフトが削られ、下宿生としては日常生活を送ることに不安を覚える中、新型コロナウイルス感染症対策緊急支援をいただけることになり、これでしばらく食事に困ることはない、と安心することができました。

また、私は混声合唱団名古屋大学コール・グランツェの団長を務めておりましたが、全ての課外活動が中止になり、生きがいであったような思いがしました。そのため、オンライン開催のホームカミングデーで私たちの演奏を「ウェルカム合唱」として披露する機会をいただけたときには、救われた思いでした。また、2月28日(日)には、大学より特別に許可を頂戴いたしまして、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じたうえで、第43回定期演奏会を開催することができました。お客様の前で私たちの演奏を聴いていただき、拍手をいただくことの喜びと尊さを、再認識した時間でした。

この1年間を振り返ってみますと、思うようにいかなかったことばかりで、なぜ私たちがこのような目に遭わなければならないのか、と何度も悩みました。ですが、今日まで頑張ってきたのは、皆さまからの力強く温かいご支援の賜物です。改めて御礼申し上げます。  
(教育学部3年 升谷さん)



## 2. 海外派遣日本人学生奨学金受給学生

航空宇宙の分野で世界をリードするアメリカの大学の講義や研究室を実感したいと思い、学部3年生の頃から、知識がある程度蓄積された修士1年次のタイミングで交換留学をしたいと考えていました。そして、2018年8月から2019年5月までの約10か月間、アメリカ合衆国ノースカロライナ州、ノースカロライナ州立大学にて交換留学をさせて頂きました。留学に関する情報を集めていると、おおよそ1年間の交換留学で200～300万円程かかるという話を聞き、かつ、両親の退職時期も近いという事もあり、不安をかかえていました。そんな中、JASSO奨学金と名古屋大学基金からの渡航費援助があると知り、不安が和らいだことを覚えています。

留学の体験談としては、正直、私は英語は得意ではなく、現地の大学に着いてからのオリエンテーションでは、委縮しながらぼつりと座っていたのを覚えています。しかし、留学先の大学で学ぶことはすべてが新鮮で、むさぼるように勉強することができ、自然と意見を出すことができるようになっていました。実践的な講義で実際に研究で使えるような知識を培うことができたほか、実際に海軍で戦闘機の技術員として従事されていた方が講義中に来てくださり、いろいろなこぼれ話を聞くことが出来たりと、飛行機が好きな人であれば羨むような体験もあり、刺激的な1年間だったように思います。

この1年間で得られた経験は、私の研究者としての人生に大きな変化をもたらしたと言えます。皆様のご寄附なくしては私たちの留学はありませんでした。改めてこの場をお借りして感謝申し上げます。

(大学院工学研究科修士2年 渡邊さん)



## 3. G30学部留学生奨学金受給学生

私は高校1年生の時、家族から離れ、ハノイで一人暮らしを始めました。その時、学費、家賃や食費などで両親はお金がたぐさなかりました。私は自立できた一方、これ以上家族に負担をかけたくない気持ちも強くなりました。留学したいと思った私は自分で奨学金を探しました。名古屋大学のG30プログラムに申請した結果、G30アカデミックスカラーシップ(奨学金受給生)に選ばれ、おかげでアルバイトの時間を控え、勉強と研究に全力を注ぐことができました。

私が留学先に日本を選んだのは、伝統的な文化と先端技術がとても魅力的だったからです。また、英語でのプログラムを提供している大学の中で、名古屋大学は研究業績が非常に多く、化学の勉強に素晴らしい環境だと思いました。日本語も知れば知るほど面白く、勉強を始めてから2年半で日本語能力試験の一級に合格、先月漢字検定2級にも挑戦しました。大好きな日本のアニメやドラマのセリフと日本語の曲の歌詞も理解でき、勉強のモチベーションだとも言えます。次に、研究についてですが、私は金属錯体の触媒を用いる窒素還元反応、つまり、窒素をアンモニアに変換する反応の開発に取り組んでおります。従来のアンモニア合成法は大量のエネルギーが必要な上、二酸化炭素が大量に排出されます。私の研究が成功すれば、環境に優しい新たなアンモニア合成法が可能になり、社会に大きく貢献できます。自分の研究を深めるため、名古屋大学で大学院に進学することも決めました。

修士課程の後も、就職でも、博士課程でも、日本にいたいと思っています。奨学金をいただいている留学生を代表し、皆様に感謝の気持ちを申し上げます。皆様、誠にありがとうございます。

(理学部4年 NGUYENさん)



## 名古屋大学 Development Office (DO室)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL.052-789-4993 FAX.052-747-6383 E-mail : kikin@adm.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学基金ホームページ <https://kikin.nagoya-u.ac.jp/>

